

7 海外の自殺の状況

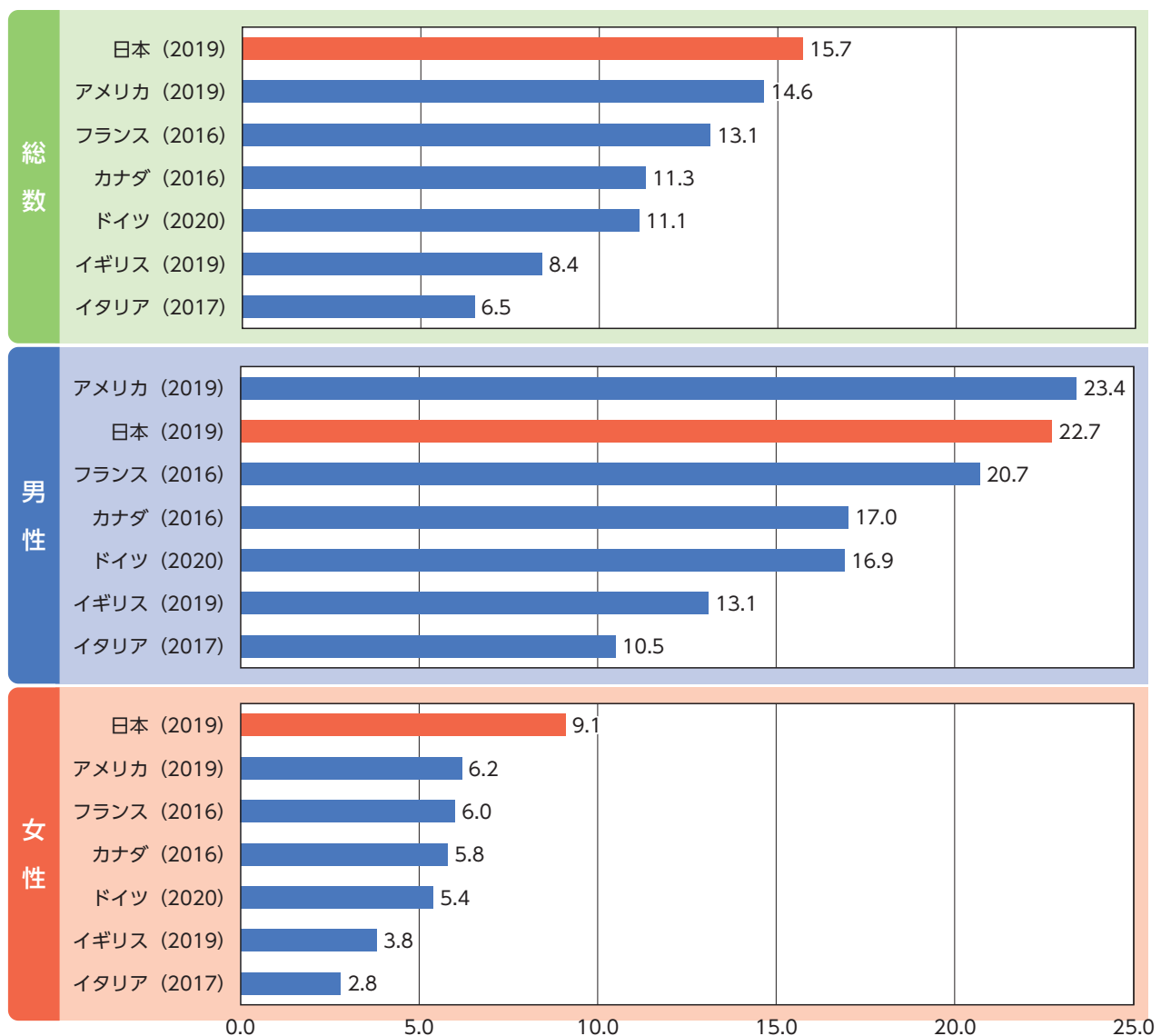
(1) 先進国（G7）の自殺の状況

先進国（G7）の自殺死亡率⁴について、世界保健機関によれば、総数では「日本」は15.7と7カ国の中で最も高かった。「日本」に次いで「アメリカ」（14.6）が2番目に高く、その後「フランス」（13.1）、「カナダ」

（11.3）、「ドイツ」（11.1）、「イギリス」（8.4）、「イタリア」（6.5）と続いた（第1-29図）。

男女別にみると、男性は「アメリカ」（23.4）が最も高く、「日本」（22.7）はそれに次ぐ2番目に高かった。女性は「日本」（9.1）が最も高くなっていた。

第1-29図 先進国（G7）の自殺死亡率



資料：世界保健機関資料（2022年2月）より厚生労働省自殺対策推進室作成

4 アメリカ、フランス及びカナダの人口は、世界保健機関より最新データが得られなかったため、最新の死亡データに合わせて各国の国勢調査等のデータを利用した。

先進国（G7）の自殺の状況⁵を若年層の死因順位⁶からみると、「10～19歳」及び「20～29歳」の死因順位の第1位が「自殺」となっているのは「日本」のみだった。ただし、「自殺」の死亡率をみると、「日本」の

「10～19歳」（5.9）は「カナダ」（5.9）と同水準であり、「アメリカ」（6.6）より低かった。更に「20～29歳」についてみても、「日本」（17.2）は「アメリカ」（17.5）より低かった（第1-30表）。

第1-30表 先進国（G7）の10～19歳及び20～29歳の死因順位（死亡数・死亡率⁷）

10歳～19歳														
	日本（2019）				アメリカ（2019）				フランス（2016）			ドイツ（2020）		
	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率		
第1位	自殺	653	5.9	不慮の事故	4,287	10.3	不慮の事故	412	5.2	不慮の事故	288	3.8		
第2位	不慮の事故	257	2.3	自殺	2,744	6.6	悪性新生物	180	2.3	自殺	179	2.4		
第3位	悪性新生物	224	2.0	他殺	2,058	4.9	自殺	152	1.9	悪性新生物	157	2.1		

	カナダ（2016）				イギリス（2019）				イタリア（2017）			【参考】韓国（2019）		
	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率		
第1位	不慮の事故	276	7.0	不慮の事故	299	3.9	不慮の事故	302	5.2	自殺	298	5.9		
第2位	自殺	232	5.9	自殺	211	2.8	悪性新生物	192	3.3	不慮の事故	139	2.8		
第3位	悪性新生物	104	2.6	悪性新生物	153	2.0	自殺	85	1.5	悪性新生物	109	2.2		

20歳～29歳														
	日本（2019）				アメリカ（2019）				フランス（2016）			ドイツ（2020）		
	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率		
第1位	自殺	2,029	17.2	不慮の事故	19,993	44.9	不慮の事故	1,030	13.8	自殺	694	7.2		
第2位	不慮の事故	534	4.5	自殺	7,771	17.5	自殺	575	7.7	不慮の事故	668	7.0		
第3位	悪性新生物	404	3.4	他殺	5,779	13.0	悪性新生物	380	5.1	悪性新生物	368	3.8		

	カナダ（2016）				イギリス（2019）				イタリア（2017）			【参考】韓国（2019）		
	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率		
第1位	不慮の事故	1,071	23.6	不慮の事故	1,100	12.7	不慮の事故	727	11.6	自殺	1,306	19.2		
第2位	自殺	609	13.4	自殺	919	10.6	自殺	301	4.8	不慮の事故	357	5.3		
第3位	悪性新生物	201	4.4	悪性新生物	393	4.5	悪性新生物	290	4.6	悪性新生物	283	4.2		

資料：世界保健機関資料（2022年2月）より厚生労働省自殺対策推進室作成

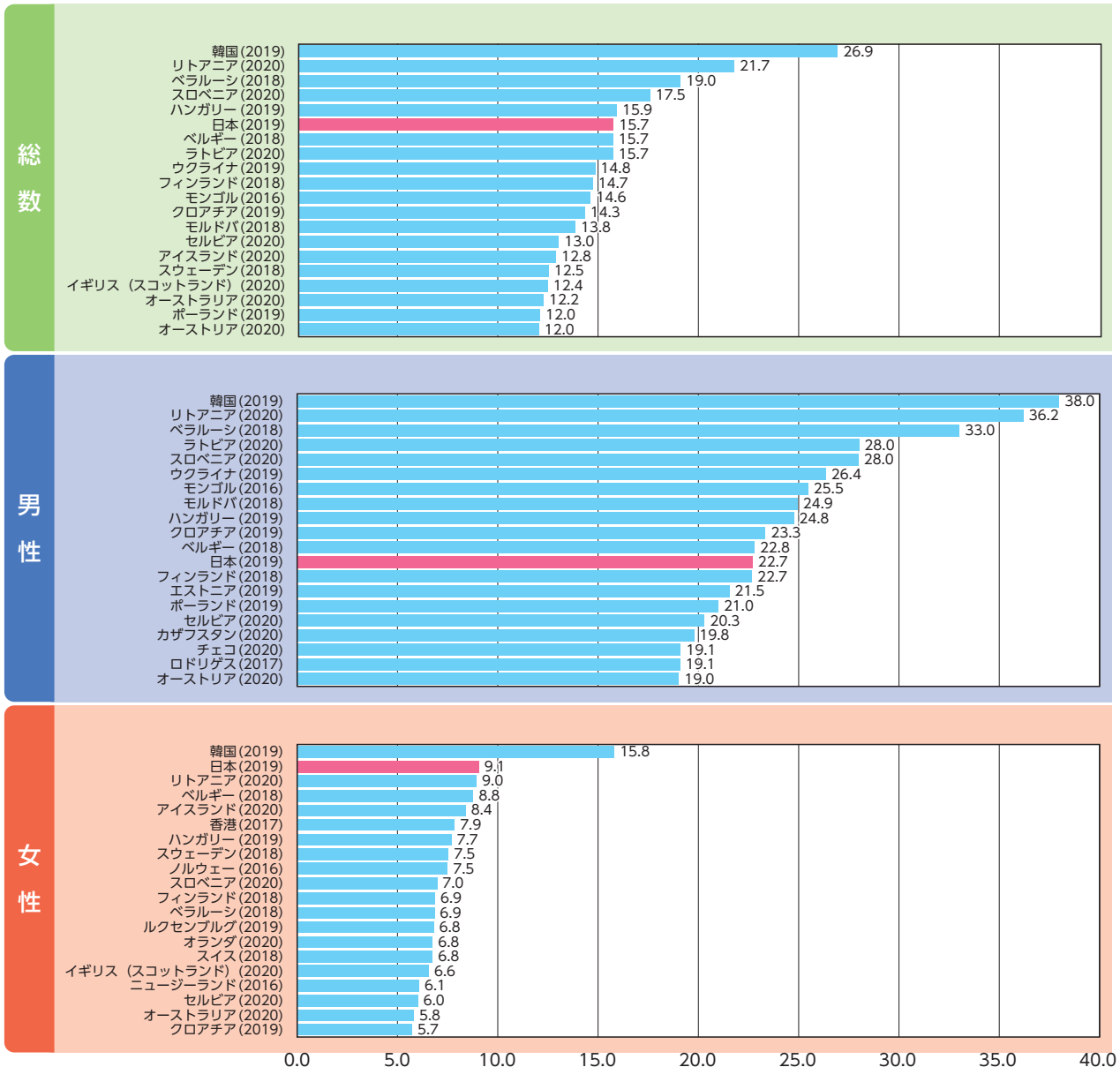
- 5 アメリカ、フランス及びカナダの人口は、世界保健機関より最新データが得られなかったため、最新の死亡データに合わせて各国の国勢調査等のデータを利用した。
- 6 死因順位の分類は人口動態統計と同様、死因簡単分類表を用いた。
- 7 「死亡率」とは、人口10万人当たりの死亡数をいう。

(2) 諸外国の自殺の状況

諸外国の自殺死亡率上位20カ国⁸について、世界保健機関によれば、「韓国」が26.9と最も高く、次いで「リトアニア」(21.7)、「ベラルーシ」(19.0)が続いていた。「日本」は15.7で6番目に高かった(第1-31図)。

男女別にみると、諸外国でも男性の自殺死亡率は女性より高いことがわかる。日本についてみると、男性は22.7で12番目、女性は9.1で2番目に高い自殺死亡率となっていることから、日本における女性の自殺死亡率の高さがより深刻であることがわかる。

第1-31図 諸外国の自殺死亡率



資料：世界保健機関資料（2022年2月）より厚生労働省自殺対策推進室作成

8 世界保健機関資料（2022年2月）から2013年以降の人口及び自殺者数が掲載されている国を対象に自殺死亡率を算出し、上位20カ国を掲載している。